

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2020年度達成度評価表 分野:社会貢献

		評価	理由
中期目標	地域連携、産官学連携の強化により、広く社会に貢献し、大学の社会的責任を果たします。		
中期計画	1 地域連携ネットワークの強化	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部活動が中止、制限されたものの、感染防止対策の実施や活動方法の実施形態変更を行い、新たな事業モデルの構築ができてきており、コロナ禍においても高大接続教育の事業実施、就職支援連携協定、社会連携部や総合リハビリテーション学部による地域連携事業等の活動を継続したことは、評価に値する。また、医療連携講演会をオンラインハイブリット開催にしたことで、例年の4倍以上の参加者を得たことは成果と言える。
	2 教育研究成果の社会への還元	B	新型コロナウイルス感染拡大のため、社会への還元の機会が減ったものの、社会連携部においては土曜公開講座・グリーンフェスティバル、学部においてはグランフロント大阪ナレッジキャピタルでのワークショップ、オンラインこども経済教室、市民公開講座、また、心理臨床カウンセリングセンターの遠隔心理支援の導入など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、地域への還元、貢献活動を維持する努力を行った点は評価できる。
	3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実	C	学生支援センターボランティア活動支援室によるボランティア交流会を、対面からオンラインに変更し継続して複数回実施することができた点は評価できる。また、facebookを活用するなど在学生や地域等に向けて継続的に情報発信を行っていることも評価できる。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため、当初計画していた栄養学部による栄養サポートチームの病院や福祉施設等におけるボランティア活動や、総合リハビリテーション学部による高齢者とこどもの交流活動等は中止となった。次年度以降の活動に期待したい。
	4 総合型地域スポーツ・文化クラブ事業の推進	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、正課外活動やスポーツフェスタが中止になり、当初目標の達成には至らなかったものの、条件や制限がある中で一部実施し、あるいは連絡を密に取り合い、感染対策に努め、適切に対応した点は評価できる。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る